

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No. N-48)

「女子大生の筆記用具」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部・実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に「女子大生の筆記用具」について、写真観察を実施しました。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（篠崎香織）」、「マーケティング（斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、自分たちの消費活動、ライフスタイルをはじめ「実践女子大生が自分たち自身」を科学する研究会です。

総括

実践女子大生は、ペンケースの大きさに合わせて中身を選んでいることがわかった。色とりどりのカラーペンをたくさん持ち歩いている人もいれば、必要最低限のペンのみを持ち歩いている人もいた。筆箱の中のペンの本数は平均して8、9本程度であった。シャープペンシルの『クルトガ』は約5人に1人の割合で持ち歩いていた。

調査結果のポイント

(1) かわいさよりも機能性

ペンケースの中身は全体的に、キャラクターものよりも、無地で単色のペンが多く、外見はこだわっていないようにみられた。よって、デザインよりも使いやすさを重視している人が多いと考えられる。

(2) 筆箱の大きさとペンの本数は変わる

筆箱が大きい人はそれに比例して本数も増えていた。プラスチック製のペンケースの人は本数が少なく無駄なものが入っていなかった。

(3) 筆箱にUSBを入れている人が多い

パソコンを使う場面でペンケースを持っていくことが多いと考えられる。

(4) 蛍光ペンは必ず入っている

どのペンケースにも蛍光ペンが1～3本、入っていた。

(5) 「クルトガ」を持っている人が多い

「三菱鉛筆株式会社」の「クルトガ」を持っている人が5人に1人ぐらいの割合でいた。

(6) 多色ボールペンを持っている人が多い

自分で色やフォルダーやリフィルをカスタマイズできるものが、多かった。

(7) 消しゴムは「MONO」をほとんどの人が使っていた。

「株式会社トンボ鉛筆」の「MONO」が圧倒的支持を得ていた。

(8) 文房具でないものも筆箱にいれている人がいた

リップやガム、目薬などをいれていた。

(9) 修正ペンよりも修正テープ派が多かった

修正ペンを持っている人は、あまりみられなかったが、修正テープは多くの人をもって
いた。

(10) シャープペンシルの芯の太さは0.5

シャープペンシルの芯の太さは、0.3や0.2もみられたが、0.5が一番多かった。

(11) 筆箱でかわいさ重視のものは少数いた

ワニやライオンなどの動物の形の筆箱が5人ほどみられた。

調査概要

- 調査対象：実践女子大学生 1～4 年生、109 人
- 調査方法：フィールドワークによる写真撮影および対象者観察
- 調査期間：2017 年6月2日～6月23日
- 調査場所：実践女子大学渋谷キャンパス
- 回答者の属性：実践女子大学生 1～4 年 100%
- 調査目的：実践女子大学生の使用している筆記用具を調べるため、筆記用具が入っているペンケースを含め、調査を行った。
- 調査主体および本調査担当：実践「ペルソナ」研究会
 - 調査員：伊藤沙耶佳、齋藤真季

調査結果

筆箱の種類別に写真資料をあげると、以下のとおりである。

【四角いプラスチック型】



【四角いプラスチック型の特徴】

四角く、プラスチックで形が変わらないのでペンを入れられる本数は決まっている。本数に限りがあるため、実用性を求めて中身がシンプルであることが多い。透明なものは100円均一ショップにも売られているほど値段が安価であるため、筆箱と筆箱の中身を選ぶ際に、値段を重視して選ぶ傾向があると考えられる。

【やわらかい素材型】

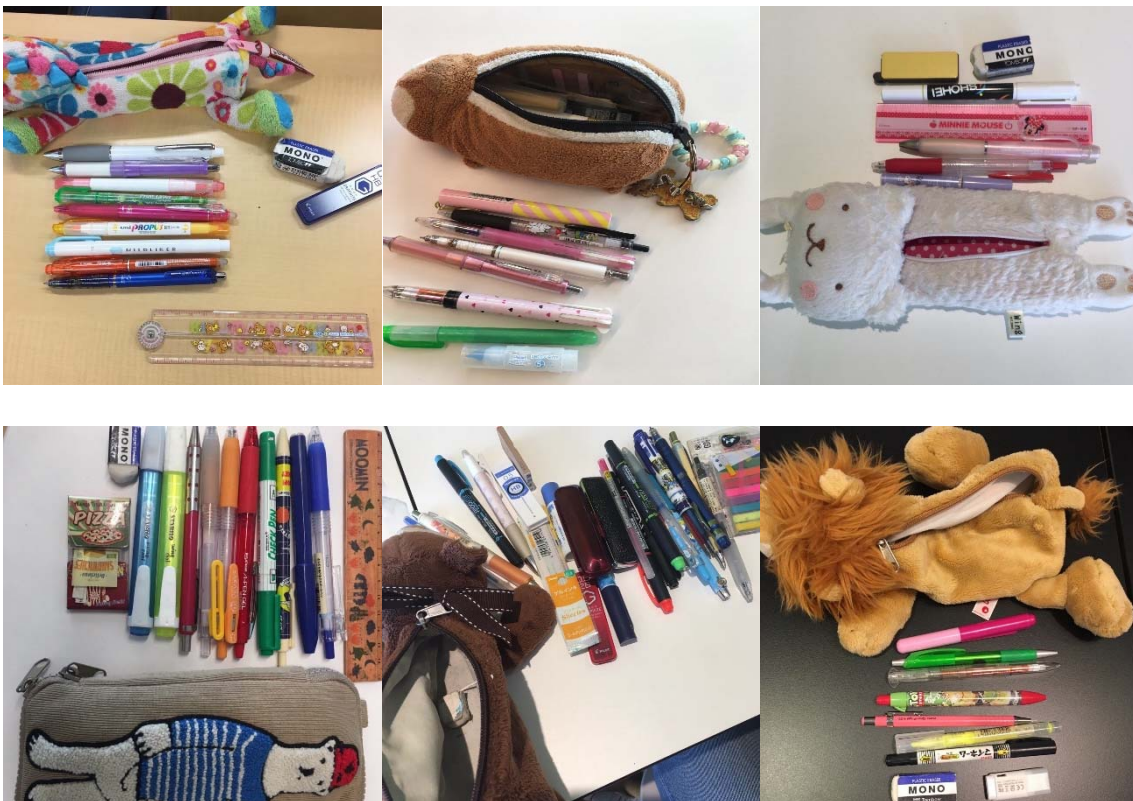


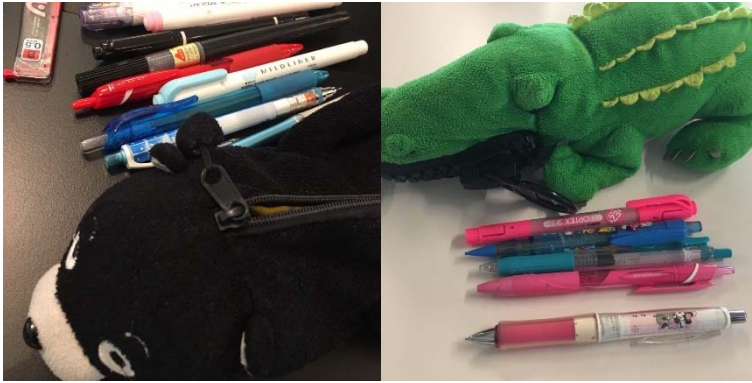


【やわらかい素材型の特徴】

素材がやわらかく、ペンが多く入るため、ペン以外の文房具も入っている人が多く見られた。もちろん四角いプラスチック型の筆箱よりもたくさんペンが入るため、シャープペンシルを2本いれている人や、ハサミやのりなどのかさばるものを入れている人が多く見られた。

【ぬいぐるみ型】





【ぬいぐるみ型】

すべて動物の形がモチーフになっていた。かわいらしいものが多く、中身よりも見える筆箱にこだわっている人が多かった。ぬいぐるみ型の筆箱は、ぬいぐるみのように素材を柔らかく丸みを帯びさせるため、中に入れることができるペンの本数は限られており、大きさの割に中身が少なかった。このような筆箱を持つ人のカバンも、リュックなどの大きく収納できるカバンを持っていた。

全体的にデザインよりも、安さと実用性を求めていることがわかった。芯が書きたびに回ること有名なシャープペンシル「クルトガ」など、機能性に優れ、長持ちするものが多くみられた。また、筆箱には必ず蛍光ペンが入っており、多色ボールペンを持つ人が多かった。これは大学の授業では配布資料が多く、ノートを作るよりも配布資料にマーカーで印をつけ、カラーペンで書き込みをする学生が多いからとも考えられる。USBを入れている人が多く見られたことは、パソコンを使用する頻度が多くなった大学生特有の特徴であると考えられる。消しゴムについては「MONO」が学生からの信頼を得ており、修正テープは修正ペンよりも支持されていた。文房具でないリップや目薬などの使う頻度が多いものも、筆箱に入れている人もいた。

デザインよりも実用性重視な理由を考えると、大学生であるからという理由が考えられた。私たちが、小学生や中学生のときは、ペンケースの中身を友達どうして見せあいをしていたが、大学生になると、その機会はあまりない。そこで、ペンケースの外見は気にしても中身はあまりデザインにはこだわらないのではないだろうかと考えられる。また、大学生になると、大人になったこともあり、シンプルなものが好きになるからではないだろうかとも思う。また、携帯電話でメモすることが多くなってきており、あまり筆記用具に頼らない傾向がみられる。

調査をした際に見たノートやスケジュール帳は、シンプルなものが多かった。特にペンケースの中身が少なく、シンプルな人はノートやスケジュール帳もシンプルである傾向がみられた。また、調査した際に、筆記用具を持っていない学生がいたため、携帯電話のスケジュール管理アプリを使っているのではないかと考えた。

今回の写真調査で全体的に、シンプルな筆記用具を持っていることがわかったが、カラフルでたくさんの筆記用具を持っている人の情報をもっとあれば、比較化でき、特長を明確化できるのではと考える。